

富士河口湖町



教育センターだより

平成 23 年 3 月 22 日

東北地方太平洋沖地震

千年に一度とも言われる大地震から、約10日。未曾有の事態に、日本中が揺れています。日本人の律儀さや対応の良さに世界中の目が注がれています。私達もその日本人の一人です。災害地の人達の崇高な精神を、私達も表に出していかなければいけないと思いました。被災地で活躍しているのは、中学生とか…。「日本人でよかった。」そんな思いにさせてくれたたくさんの善意の人達。「それに恥じないように生きていこう。」と、あらためて思いました。

さて、子ども達を取り巻く環境において、不登校やニート・いじめ等の問題が蔓延しています。昨今では、ネットトラブルに巻き込まれるケースも多発しています。私達大人が正しい知識を備え、心の面も含めてしっかりと対応していく必要があると思います。多くの犠牲者を出した大地震ですが、たくさんの人達が命と引き換えに、私達に伝えてくれたものは、とても貴重で尊いものです。大切に育んでいかなければいけないと思います。私達大人はその担い手なのです。

センターを巣立った子ども達の言葉

- センターは自分にとって、もう一つの学校のように、とても落ち着く場所でした。相談員さんはいつも明るくとても和みました。とても、おおらかな人達でした。
- もし教育センターがなかったら、私は学校へ行けなかったかもしれない。私は勉強しなかったかもしれない。まだ、家にこもっていたかもしれない。もし教育センターがなかったら、今の私はいません。「ありがとう」じゃ足りないけど、「ありがとう」しかない。多分、一番の恩返しは「モノ」じゃなくて、成長した私なんだろうな。いつか、絶対に胸を張って、「幸せです」って言えるような人間になりたいです。学校に行けなくなって、いろいろ不安なことがあって、泣くこともたくさんあったけど、教育センターに行くようになったら、泣くことも少なくなったし、楽しいこともいっぱい来るようになりました。教育センターがあったから、ちゃんと高校も決まったし、自分の夢も叶えられそうです。

これからセンターを訪れる人へ

- 教育センターはいいところです。多分いろいろ悩んでここにくるんだと思うけど、ここでいろいろ話を聞いてもらって、悩みを解消してください。つらいことはいっぱいあるけど、それだけがすべてじゃないし、楽しいこともたくさんあると思う。というか、ある!!
- 年上でも年下でも同じ年でもいいから、『話せる人』を見つけて。早く大人になろうとしないで。

子ども達の心からの言葉です。今でも、ときどき元気な顔を見せてくれます。